



# England & Ireland

## イギリス＆アイルランド高校留学



ハリー・ポッターで描かれた伝統的な高校生活。  
英語を学んで、格式とマナーを身につけます。

イギリスの留学先は、ボーディング・スクールと呼ばれる寄宿舎制高校です。  
貴族の子女教育の場として発展した価値ある伝統教育を体験できます。

### British Secondary School

#### ■伝統のイギリス高校留学

伝統と格式を重んじる国イギリス。「ゆりかごから墓場まで」といわれる世界屈指の高福祉社会を実現してきたイギリスは、国によって定められた質の高い教育制度、整備されたインフラ、高度な医療システム、国土の隅々まで行き渡る陸路・空路の交通網による利便性の高い社会環境によって、留学生は安心で快適な生活を送ることができます。

現在の英国の人口は6800万人と発表されていますが、この国の発展を続ける経済と安定した雇用機会を求めてヨーロッパ諸国からの在留者が多数居住しているといわれています。留学生の数も多く、英語学習を目的とする語学留学生、ケンブリッジ大学やオックスフォード大学をはじめとする名門大学への大学・大学院留学生、中高校学校への留学生の数を合わせると、その数だけで数万人に上るといわれます。

イギリスの公立高校は、地域に居住するイギリス人子女のための中等教育学校とされるために、海外からの留学生はボーディング・スクールと呼ばれる寮制の私立高校に入学します。この学校では寄宿舎への滞在が主とされているために、十代の年齢の生徒には、安全で快適な学校生活が約束されています。留学生は私立高校の洗練された教育環境の中で、長い伝統で培われた学問の習得とともにイギリスに対する視野を効果的に広げる学習機会を得ることができます。これらの高校では、いずれも特徴を持った課外活動や地域活動を行っています。クラブ活動、レクレーション活動、エクスカーションや博物館の訪問、社会見学やチャリティ活動への参加による健全な青少年活動が実施されています。

留学先高校で規定された学科単位の取得と、統一試験の成果により高校履修課程を修了した生徒はイギリスの大学やカレッジ、日本の大学に進学することができます。高校留学生は伝統教育と優良な教師の指導のもと充実した学生生活を送っています。

### Ireland High School

#### ■注目のアイルランド高校留学

近年、注目を浴びるアイルランド留学。アイルランドとはケルト語で「緑の島」という意味です。600年に渡る英國統治時代の背景によって、イギリスの教育立法を基本にして独自に教育制度を発展させてきました。アイルランドは、教育レベルが高く、治安のよい国として近年若者の留学先国として国際的に広く注目されるようになりました。この国の教育制度は、6才から初等教育で First Level と称するプライマリー・スクールに6年間通い、その後 Second Level という中高等教育のジュニア・サイクルに3年間通学します。その後、日本の高校にあたるシニア・サイクルに進学して3年間学びます。この上位学年で、INLC (Ireland National Leaving Certificate) という国家統一大学検定を受験して大学に進学します。この国の高校では上位学年で大学の一般準教科の科目選択履修があります。アイルランドは、以前は高校留学生の受け入れに消極的でしたが、教育の国際化に伴って留学生を積極的に受け入れるようになりました。高校留学地域は、コーク、ダブリン、ゴールウェイ各都市近郊の私立高校が受け入れ先となります。

#### ■イギリス、アイルランドは個性重視教育

イギリスの私立高校は、この国の歴史の中で「躾と学力の養成を重視した個性教育の館」として良家子女教育を目的に、ボーディング・スクール（寄宿舎制伝統校）の名称のもとで発展してきました。この寄宿舎制学校が広まった背景は、貴族の子女教育の伝統と必要性にあります。その伝統とは領地管理で多忙な貴族が自分の子供が一定年齢に達すると、親元から離れた教育者のもとに寄宿させて、高度な知識と専門的な学識、さらには社会生活で必要な作法や習慣を学ばせるというものです。

映画で有名な「ハリー・ポッター」の主人公が入学した学校がまさしくこのボーディング・スクールです。映画の中で克明に描かれている高校生活の様子は、極端に誇張されてはいますが、イギリスの伝統子女教育を知るきっかけになります。

近年はこの英國式教育を求めて、多くの学生が世界中からイギリスのボーディング・スクールへ留学しています。特に発展めざましい、アジア、南米、アフリカ諸国やロシアからの留学生が増加しています。イギリス国民の少子化が進行した現在、留学先学校にネイティブの生徒は少なくなり、学生のほとんどが実家が裕福な留学生であることが珍しくなくなりました。



# Study Excellence in England.

## イギリス & アイルランドの高校生活

### ■高校学年・学期制について

イギリスの義務教育は16才(アイルランドは15才)で終了します。公立・私立校とも年齢による学年のレベルとされますが、統一試験として、GCSE、IGCSE、GCE-A(アイルランドはINLC、スコットランドはSCE)と称される大学進学検定があります。学年は、YearとFormで表されます。通常9月から新学期が始まり、翌年の6月に終了します。3学期制が多く取り入れられていますが、例外として地域や学校によって4学期制が取り入れられている場合があります。

### ■必修科目

英語(英語・ドラマ・英会話EFL)  
数学(代数・幾何学、関数、統計、微積分)  
理科(自然科学、生物、物理、化学、地学)  
社会(政治、経済、地理、世界史、英国史)  
言語学(主にヨーロッパ言語、アイルランド・ゲール語)  
プログラミングIT(HTML、JAVA、C+、Python)  
STEM教育コース(サイエンス・テクノロジー教科)

### ■選択副教科

会計学、プログラミング情報工学、オーケストラ楽器演奏、バンド、合唱隊、演劇、ダンス、ジャーナリズム、エンジニアリング、技術家庭科美術、水彩画、デッサン、ビジュアルアート、乗馬、フェンシング、クリケット、サッカー※学校により異なる

### ■充実のサマースクール

私立高校では7月～8月の夏休み時期に、サマースクール(夏期講座)が開催されます。不得意科目の克服や英語の習得のために留学生の希望によって参加することができます。

### ■ボーディング寮制と後見人

留学生は寄宿舎に滞在します。寮長が常宿して、勉強時間やマナー教育が指導されます。学校によってはホームステイから通学できます。高校留学に際しては、未成年の海外在留であるために英国内にガーディアンと呼ばれる後見人が必要です。



### イギリス & アイルランド高校留学申し込み要項

イギリスが大好きな生徒さん、英国の文化を愛する生徒さん  
英國貴族の子供たちが受けてきた優れた高校教育を体験できます

#### ●入学時期

8月、または1月

#### ●留学期間

1年間～卒業年まで

#### ●申込締め切り日

8月入学～3月31日

1月入学～8月31日

留学渡航の準備のために、できる限り早めにお申し込み下さい。

#### ●応募資格

留学出発時において、中学生以上であること。

高校中退者の出願も可能です。

#### ●英語能力

中級程度の英語力(事前の語学研修参加により重視しません)

高校入学までの現地事前語学研修参加及び、留学先高校での英語講座へ参加できます。

#### ●緊急手配

上記締め切り日以降の高校留学申し込みも受け付けています。

別途お問い合わせ下さい。

#### ●審査方法

書類審査

面接

### イギリスの教育制度について

イギリスの教育制度は歴史的な階層教育の背景から、公立学校と私立学校のふたつの流れがあります。どちらの学校も最終的に英国教育省の制定した「統一試験GCSE・GCE」を最終目標とする教育体系となります。公立高校はイギリス人子女の教育施設であるために、留学生は、ほとんどの場合「ボーディングスクール」と呼ばれる私立高校に入学します。イギリスの高校は、先述の統一試験達成評価を高校修了の大学進学検定と称するために、日本でいう高校卒業とは異なる教育制度といえます。

### ■イギリスの学年制について

私立校	私立小学校 Preparatory School						GCSE → GCE(A Level)						総合大学 University	大学院 Graduate Course		
	私立中高校 Senior School College			進学準備校 6th Form Tutorial College			Further Education College									
公立校	公立小学校 Primary School						公立中高校 Secondary School									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
Year	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
日本	小学校						中学校			高校			大学			大学院

